日刊 動労千葉

81.1.8

No. 626

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一－八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

三里塚・ジェット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉砕！

1月総決起行動を確認

第2回支部代

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

全力で銚子支部デッチ上げ『再建』粉砕し、81・3闘争へ

一月六日、第二回支部代表者会議は各支部長・書記長の出席のもとに開催された。会議は、激闘の一九八一年を闘うにふさわしい活気がみなぎる中で進められた。全参加者は、昨年末からの布施組織部長にたいする不当解雇強行、銚子支部デッチ上げ「再建」策動、そして一月八日「ジェット延長」提案強行の動向等が、明確に「八一・三つぶし」のための権力・当局と動労「本部」革マル反動分子一体となった動労千葉破壊攻撃であることをガッチリとうけとめ、それをはねかえすべく八一年年頭から熾烈な闘いへと突入することを満場一致確認した。

一月総決起行動の取り組み

1. 銚子支部デッチ上げ「再建」策動粉砕闘争

十二月末における銚子支部執行部内「本部」派による「業務再開」強行採決というファッショ的暴挙とヤクザ的・暴力的どう喝をもって銚子内良心的組合員をおさえ込もうとする石毛一男をはじめとする八人の悪質分子の行為は、動労千葉に対して敵対するばかりか、銚子支部の多くの組合員の心である「執行部が動労千葉へ結集しようと決めれば銚子は一本にまとまる。そうでなければ銚子は四分五裂だ」という切実な声をも裏切ったものである。動労千葉はこの組合員の声を実現させるべく次の取り組みを行う。

(1) 一月中に第一次オルグ（七～九）を皮切に四次にわたる銚子オルグを展開する。

(2) 乗入先における徹底オルグを行う。

(1)・(2)の行動の中で、ヤクザ的・暴力的どう喝をもってする石毛一男をはじめとする大川明義・石津新治・菅谷任・渡辺昭夫・根本勝美・山田桂介・来栖忠敏等八名の悪質分子への糾弾と他の銚子支部組合員の説得オルグを行う。

(3) 以上の行動を通じて、銚子支部組合員の多くの声なき声としてある動労千葉結集をかならずや実現し銚子支部を結成する。

2. 八一・三ジェット燃料暫定貨車輸送延長反対・布施組織部長不当解雇撤回闘争

(1) 一月行動は、闘争指令第五号による一・八～九抗議減産闘争貫徹と一・二四～二五集会の成功をかちとることに全力を投入する。

(2) 二月段階における助役機関士導入阻止闘争から本格的闘いに入ることは必至であり、一月決起闘争を通して組織強化・闘争体制強化をかちとる。

対「本部」組織争闘戦の結着をつける最大のチャンス

第二回支部代でかちとられた意義の第一は、一年年頭を期して銚子支部デッチ上げ「再建」動粉砕！動労千葉銚子支部結成へ向けた闘いを銚子支部で生起した事態を直視し、一刻たりとも気をゆるめることなく勝利へむけて闘うこと。

しかも最も重要なこととして、この闘いが、「本部」革マル反動分子との組織争闘戦の結着をつける最大のチャンスを迎えたと認識し、勝利の確信をもって全支部代表者が闘いの先頭にたつことを確認したことである。

第二には、権力・当局・「本部」革マル反動分子の共通した願望と攻撃の企図が「八一・三つぶし」であり、銚子支部デッチ上げ「再建」策動と「ジェット延長」提案・布施処分攻撃である以上これを完膚なきまでに粉砕することこそ、八一・三闘争に勝利する唯一闘いの活路であることを全体で確認し、一月総決起行動を動労千葉の全体重をかけて取り組むことを決定したことである。

全組合員のみなさん。

いざ全力をあげて、一月総決起行動へ突入せよ

銚子オルグ、一・八～九減産闘争の爆発をかちとろう。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

ジェット延長提案強行粉砕・布施組織部長への不当解雇撤回！

1/8～9減産闘争の大爆発かちとろう

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！